

補足資料:HP CCIソリューションとブレード PC

<ブレード PC とは>

ブレード PC である bc 1000 は PC を構成する「CPU」「メモリ」など主要部品をブレード型の装置に集約し、コンピュータールームでの一括管理を可能にしたものです。

<CCI が実現する、ブレード PC を用いた仮想 PC>

CCI では、ブレード PC をキーコンポーネントとして、シンクライアント上に仮想的な PC を再現します。

コンピュータールームでは:

PC の「演算装置」としてブレード PC (HP bc1000 blade PC)、「記憶装置」として外部ストレージを配置。また、Active Directory サーバにユーザ情報を格納します。ユーザがログインすると、Active Directory によってユーザ情報が特定され、ストレージに格納されたデータを使用してユーザの専用環境が、空いているブレード PC 上に再現されます。ユーザは、ネットワークで接続されたシンクライアント (HP t5710 Thin Client) を介してブレード PC にアクセスします。

管理者のオフィスでは:

大量のブレード PC の一括管理を可能にするために、HP ProLiant System Insight Manager を活用できます。また、外部ストレージにデータが格納されているので PC データのバックアップも管理者がまとめて実行できるなど、様々なメリットがあります。

ユーザのオフィスでは:

HP シンクライアント、ディスプレイ、キーボードとマウスを使用し、画面表示と入力のみを手元の端末で実行します。ユーザの環境やデータが端末に依存しないためセキュリティが高まると同時に、障害時にも、別のブレード PC に切り替えるわずかな時間の停止だけでユーザが作業を続行できます。

